

別紙

I．事業評価総括表（令和４年度）
（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	天竜消防署運営事業	浜松市	111, 842, 783	94, 828, 000	

Ⅱ．事業評価個表（令和４年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	天竜消防署運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		浜松市		
交付金事業実施場所		浜松市天竜区		
交付金事業の概要		天竜消防署の運営に係る人件費（87名）４カ月分		
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に係る主要政策・施策： 浜松市未来ビジョン第1次推進プラン（平成27年度～平成36年度） 都市経営の考え方 ４ 想定外にも対応できる自立・自律したまち 分野別計画 安全・安心・快適 基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり 政策 ・消防施設の最適化、人材育成の充実 ・消防団の防災体制の充実 ・火災予防体制の充実、火災による被害の軽減 ・通信・指令体制、救急体制、航空消防体制、消火・救助体制の充実強化 目標： 予防（各事業所への査察） 157件（事業期間） 警防訓練（火災・災害等） 337件（事業期間） 普及啓発（救急講習等） 57件（事業期間）		
事業開始年度		令和４年度	事業終了（予定）年度	令和４年度
事業期間の設定理由		毎年度、交付金の実施事業について判断しているため。		

交付金事業の成果目 標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度
	予防（各事 業所への査 察） 157件	予防（各事 業所への査 察）実施件 数	成果実績	件	60	
			目標値	件	157	
			達成度	%	38.2%	
	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度
	警防訓練 （火災・災 害等） 337件	警防訓練 （火災・災 害等）実施 件数	成果実績	件	527	
			目標値	件	337	
			達成度	%	156.4%	
	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度
	普及啓発 （救急講習 等） 57件	普及啓発 （救急講習 等）実施件 数	成果実績	件	16	
			目標値	件	57	
			達成度	%	28.1%	
	評価年度の設定理由					
	事業実施実施後早期に評価し、次年度の事業改善を図るため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	訓練業務では、火災や自然災害対応として527件の訓練を実施し、各隊員の技能・各隊の連携の向上、天竜消防署の災害対応力の向上に努めました。 今回、普及啓発業務において目標値を達成できなかった要因としては、新型コロナウイルスの評価レベルが高まったため、事業を延期又は中止したことが挙げられます。その中でも、各事業所を対象として16件の救急講習や訓練指導を実施し、市民の防火意識の向上、有事の際の応急手当技術の普及向上に努めました。 今回予防業務において目標値を達成できなかった要因としては、8月に台風被害があり、年内で実施する計画を年度内に行うよう、計画を後ろ倒しにしたため、今回の対象期間以降に査察を実施した件数が多かったことが挙げられます。 本交付金の活用により、上記のような業務を行った結果、消防業務の安定的な運営、及び地域防災対策の強化を図ることができました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	消防職員の雇用量 (雇用人数(人)×雇用期間(月))	活動実績	人月	436	425	347
		活動見込	人月	440	435	348
		達成度	%	99.1%	97.7%	99.7%
交付金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考		
総事業費	135,284,380	136,469,360	111,842,783			
交付金充当額	92,606,000	94,954,000	94,828,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	92,606,000	94,954,000	94,828,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
人件費		雇用	消防職員87名		11,842,783	
交付金事業の担当課室	市民部市民協働・地域政策課					
交付金事業の評価課室	消防局消防総務課					